

## 事業計画書

事業名	合同文化祭 ぬまづ学縁祭～仲間と創る最高の思い出～
実施場所	香陵アリーナ
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 令和8年 1月 18日 ~ 令和8年 3月 31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

沼津市内各校の高校生有志が中心となり、2026年1月18日に香陵アリーナで合同文化祭「学縁祭」を開催する。各校のステージ発表や展示・体験ブース、学校紹介、綱引き大会、軽音演奏、飲食販売に加え、フードドライブ等のSDGs活動を実施。中学生・地域住民・企業との交流を生み、学校間の縁と地域の活力を広げる。

## ◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

本企画は「学校が違うことで交流が生まれにくい」「若者が地元への愛着を持ち続けにくい」という地域課題を背景に、高校生自らが地域とつながる合同文化祭を創ることを目的とする。

具体的には、①高校生同士の協働による主体性・自己表現機会の創出、②中学生の進路選択支援、③地域住民・企業との交流促進と地元高校の魅力発信、④寄付やフードドライブ等のSDGs活動による地域参加型の活性化を実現する。

## ◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
開催前	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。</p> <p>※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 月1度のミーティングを実施（30~40名参加）、事業名、企画内容の検討を行う</li> <li>● 関係機関への正式依頼・協力体制確定</li> <li>● 広報プレリリース準備</li> <li>● 会場レイアウト／部屋割り</li> <li>● 実行委員会・外部協力団体等の運営体制の確立、役割分担</li> <li>● ポスター制作／配布（締切25日）、SNS運用</li> <li>● ステージ演目・展示／体験内容の決定</li> <li>● ボランティア募集／運営マニュアル素案作成</li> <li>● 広報ぬまづ」等への掲載、SNS・学校連携による周知強化</li> <li>● 出演順・当日動線・安全管理・備品手配の確定</li> <li>● 参加校合同リハ、運営スタッフ最終ミーティング</li> <li>● 最終広報、会場設営計画の確定</li> <li>● 出演・出展者最終確認／当日スケジュール確定</li> <li>● 当日運営 高校生当日ボランティア合わせ100名体制</li> </ul>
前日	
本番（R8.1.18）	
事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加者アンケート集計・振り返り会議</li> <li>● 成果報告書作成、協力団体・市への報告</li> <li>● 次年度に向けた改善点整理</li> </ul>

## ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

高校生：他校生徒と協働することで主体性・協働性が育ち、自己表現の機会が広がる。

中学生：高校生活を体感し進路選択の参考となる。

学校：地域への魅力発信・学校PRにつながる。

地域社会：交流人口の拡大と、SDGs活動を伴う地域参加型イベントとしての活性化が期待できる。

成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p> <p>当日来場者数：1,000人以上</p> <p>ステージ出演団体数：12団体程度</p> <p>SDGs活動（寄付・食料等）の回収量／参加者数：回収箱設置数、回収量、参加人数で把握</p> <p>SNS・広報の到達数：公式SNSの閲覧・反応数（いいね/シェア等）</p>	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。
			<p>来場者カウント（入退場自由エリアは目視カウント+推計）</p> <p>事前・事後アンケートによる満足度／行動変容の測定</p> <p>SDGs回収物の重量・数量集計</p> <p>SNSアナリティクス、広報媒体掲載実績の記録</p>

## ◎評価の視点に合致していることの説明

※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。若者の地元離れや学校間・世代間の分断が進む中、高校生が主体となって地域とつながる場を作ることは、まちの魅力づくりと次世代育成に資する公益性の高い取り組みである。来場者に開かれた文化祭として不特定多数の利益につながる。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。沼津市内の高校生が連携し、香陵アリーナという地域拠点で初の大規模イベント開催、さらに中学生・地域住民・企業を巻き込む構造になっている。地元の教育・地域資源を活用し、地域課題の解決（交流人口拡大、地元愛醸成）に直結する。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。単なる学校イベントではなく、「高校生が市と企業と協働して運営する合同文化祭」である点が新しい。学校間の壁を越え“創る側として参加する”設計や、SDGs活動と結びつけた地域参加型の仕掛けは申請者ならではのチャレンジ性を持つ。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。既に高校生実行委員会と地域の青年経済団体である沼津YEGの協力体制があり、スケジュールも4月から段階的に準備を進める設計で現実的。会場・後援体制も明確で、役割分担と安全管理を含めた運営が可能。予算は、地域企業の支援を受け、必要充分である。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。本事業で形成される高校生ネットワークは、継続開催や他地域連携、政策提案活動などへ波及する可能性が高い。協賛・寄付・企業連携を通じた資金確保にも取り組み、主体的かつ継続的な地域活動へ育てられる。

## ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

本事業で生まれる高校生ネットワークを核に、学縁祭を毎年の恒例行事として継続開催する。

次年度は

- 参加校・参加人数の拡大
- 企業・大学・地域団体との共同企画の増加
- 高校生サミット等と連動した地域課題の政策提案・発表の強化

を進め、将来的には「若者が地域を動かすプラットフォーム」へ発展させる。

## ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。

新規事業のため該当なし。